

珠洲市復興計画 第4回策定委員会 協議記録

日 時	2025年2月1日(土)13:30~15:20		
場 所	珠洲市産業センター 2階会議室		
参 加 者	役 職	所 属	氏 名
本 部	本部長	珠洲市 市長	泉谷 満寿裕
	副本部長	珠洲市 副市長	金田 直之
	本部員	石川県能登半島地震復旧・復興推進部 現地対策室 (珠洲市派遣)	皆戸 靖彦 (欠席)
委 員	委員長	東京大学農学生命科学研究科生圏システム学 専攻 准教授	橋本 禅
	副委員長	飯田地区地区長会 会長 (連合会会長)	泉谷 信七
	委員	正院地区地区長会 会長 (連合会副会長)	濱木 満喜 (欠席)
	〃	三崎地区地区長会 会長 (連合会副会長)	辻 一
	〃	日置地区地区長会 会長 (連合会監事)	糸矢 敏夫
	〃	宝立地区地区長会 会長	多田 進郎
	〃	上戸地区地区長会 会長	中川 政幸
	〃	若山地区地区長会 会長	北風 八紘 (欠席)
	〃	直地区地区長会 会長	樋爪 一成
	〃	蛸島地区地区長会 会長	梧 光洋
	〃	大谷地区地区長会 会長	丸山 忠次
	〃	社会福祉法人すず椿 理事長	宮野 修
	〃	農業生産法人ベジュール合同会社 代表	足袋拔 豪
	〃	株式会社ノトハハソ 代表取締役	大野 長一郎
	〃	石川県漁業協同組合すず支所 参事	山崎 幸治 (欠席)
	〃	珠洲市特定地域づくり事業協同組合 事務局	馬場 千遥
	〃	株式会社のろし 企画マネージャー	小寺 美和
	〃	特定非営利活動法人ガクソー 代表	北澤 晋太郎 (代理:新谷 健太)
〃	株式会社 Drone Partner's 代表取締役	浦 達也	
〃	石川県立飯田高等学校生徒 (ゆめかな地震班)	鈴木 杏佳 (欠席)	
事 務 局		珠洲市令和6年能登半島地震復旧・復興本部事務局 事務局長	濱野 良夫
		珠洲市令和6年能登半島地震復旧・復興本部事務局 次長	西 靖典
		珠洲市令和6年能登半島地震復旧・復興本部事務局 係長	河原 博志
		株式会社計画情報研究所	米田 亮 喜多 峻平 田村 浩次

## 1. 開会

### 【濱野事務局長】

案内の時間より少し早いですが、ただ今より第4回珠洲市復興計画策定委員会を始めさせていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただき、感謝申し上げます。本日司会を務める事務局の濱野である。よろしくお願い申し上げます。本日、正院地区の濱木区長会長、若山地区の北風区長会長、県漁協すず支所の山崎参事、飯田高校ゆめかな地震班の鈴木さんは都合により欠席となっているためご報告させていただきます。また、特定非営利活動法人ガクソーの北澤代表に代わり新谷さんに参加いただいている。開会にあたり市長よりご挨拶をお願い申し上げます。

## 2. あいさつ

### 【泉谷市長】

委員の皆様方におかれましては、お忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。

能登半島地震発生から1年1ヶ月、また奥能登豪雨から4ヶ月余りが経過した。

珠洲市復興計画策定委員会につきましては昨年5月18日に第1回目のご議論をいただき、これまで3回にわたってご議論をいただいたところである。また市内10地区においても、昨年6月、8月、12月と3回にわたり意見交換会を実施した。

加えて、「新たなまちのかたち」のご議論も進めていただいている。各地区区長会長の皆様方には改めてご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

また、昨年7月15日には有識者会議を開催し、9名の有識者の方々から様々なご提言もいただいているところでもあり、この間、未来を担う児童生徒、また若い方々にもご意見をいただけてまいった。

また、年末には再度有識者の方々からご意見を頂戴し、パブリックコメントも実施したところである。その都度、ご意見を反映してこの復興計画案に修正を加えてきたところである。

本日、改めて復興計画案をご確認いただき、ご意見を頂戴し、修正すべき点があれば修正した上で、よろしければご承認を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

計画を策定することは重要だが、最も重要なのはこれから復興に向けて具体的に取り組みを進めていくことに尽きると考えている。現在も既に進めるべきところは進めているし、来年度の当初予算にも早速に反映すべきところは反映して進めていきたいと考えている。

なお、「新たなまちのかたち」については、今後も議論を重ねていただきながら、進めてまいりたいと考えているし、防災体制の見直しについても、今後、鋭意取り組んでまいりたいと考えている。

何卒ご理解を賜るようよろしくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## 3. 報告事項

### 【橋本委員長】

これより会の進行を務めさせていただきます東京大学の橋本です。円滑な議事進行にご協力をお願いします。それでは初めに報告事項について事務局より一括して報告をお願いします。

< 事務局より報告事項の説明 >

### 【橋本委員長】

資料1から6について事務局から説明があったが、質問等あるか。

( 質疑なし )

#### 4. 議事

##### 【橋本委員長】

それでは議事に移りたいと思う。議事次第の4の議事①と②について事務局よりご説明をお願いする。承認に向けて皆さんからのご意見いただきたいと思っており、特に、具体的にどの部分をどういう形で変えていくといいのかという視点で、ご意見いただけるとありがたく思うのでよろしくお願ひ申し上げる。

#### < 事務局より議事①、②の説明 >

##### 【橋本委員長】

只今、説明のあった議事①の珠洲市復興計画案であるが、地区住民との意見交換会、パブリックコメント、小中学校ワークショップ、有識者からのご助言ご意見等を踏まえて最終案となっている。議事②の今後のスケジュールも含めてご意見ご質問はあるか。

##### 【糸矢委員】

基本的なところだが、震災前からも、本市の最大の課題は人口減少であった。そこに震災が加わり、現状は更に酷くなっている。その中で復旧復興を進めていくということで、復興計画を策定している。その最大の課題をどのように解決するかという、そういうテーマが頭の中にないと、色んな取り組みや今やらなきゃならない課題がここにも整理されているが、そこがネックになって復興が進まないということが考えられるのではないか。そうしたところも、基本理念に加えたらどうなるか分からないが、認識というか、そこを踏まえた復興を考えていかなきゃならないっていうようなことをちょっと大雑把な話だが感じている。

また、里山里海の営みの再生をベースにということで、いろんな課題や取り組みがなされているが、例えば、私の住む狼煙地区では、なりわいといえば、漁業、農業、観光業である。狼煙漁港は今、水産庁に避難港ということで直轄工事を行ってもらっている。基本的には、元に戻す方向で整備すると言っているが、肝心の漁業者がいない。工事が終わったら、あの広い港に船が何隻止まっているだろうか。こういう状況があって、観光という意味でもせつかく良い環境に整備してもらおうし、漁業をするにも良い場所であり、漁業という魚を獲るということだけではなく、漁村も生かした、漁港も生かした、町の活性化を目指す「海業」という考え方もあるのではないか。そうした方向性というのは、全くトータルで見えてこない。特に農業も大変厳しい状況だが、漁業についても触れられた場所がほとんどない。漁協の委員の方に、なぜ策定委員会に出席しないのかという話をし、出席してもらえるように要請してほしいと言っても出席してもらえない。もっと漁業関係者には頑張ってもらいたい。

あと、里山里海ということで脱炭素やSDGsということを述べられているが、SDGsはフワッとした言葉で、基本的には里山里海を守っているのは、今回の豪雨でも分かったと思うが、やはり脱炭素の問題である。そのためにエネルギーをどうしていくのかというテーマがあっても良いだろう。特に発電の問題で、いろんなところでソーラーを入れたらどうだという話が出ているが、災害でもそうだし、それから脱炭素という考え方でもそうだが、市役所や学校で若干ソーラーが入っているが、それをもう少し、例えば公民館や集会所、それから一般家庭にも広めていくというような大きな政策があっても良

いのかなと思う。

みんなが見てそうだなというようなアピールが全くなく、見てもワクワクしない。

市民の皆さんに提示したり、外に発信するときには、ポイントを絞って課題も整理して、分かりやすくワクワクするような出し方をしていただきたいというのが要望である。

#### 【泉谷市長】

震災前も珠洲市の最大の課題は人口減少ということで、珠洲市の質を高めること、そしてまた魅力を高めることが重要であるということで様々な取り組みを進めてきた。

復興計画についても、こうした質を高める、魅力を高めるということについて、全く白紙の状態から新たなプロジェクトを作り出していくということよりも、これまで取り組んできたことをまた進めていく。そしてまた、新たにそこに加えていくといった形での計画案になっていると思う。

確かに糸矢区長会長さんがおっしゃるように、復興を進めようにもまずは人がいないと進まないのではないかと、そこをまずどうするんだと、結局ぐるぐる回っているというような感じはするが、その辺りももちろん、しっかりと進めていかなければならない。

昨日夜7時半からのNHKの番組を見たが、本当に色んな取り組みを進めていただいていることに改めて本当にありがたいなという思いで見えていた。色んな取り組みを絡めながら進めていくということが重要であろうかと思うし、強烈なこのインパクトのある、そういった文言としては、現れてないということも見えづらいかもしれないが、この計画案の中にそういったことについては、できる限り提示しているというふうに考えている。

農林水産業についてであるが、「海業」といった文言は、載ってはいないかもしれないが、元々理念の中にも里山里海の営みを復興に向けては基本とする、基礎とする、ベースにするということを謳っているのでしっかりと進めていきたいと考えている。

脱炭素についても、先駆的な技術を取り入れるということも含めて、取り組んでいきたいと思うし、脱炭素と大きな項目としては出ていないが、事務局の方から脱炭素について記載している部分を紹介してもらおう。

#### 【濱野事務局長】

先ほど報告事項の方で説明させていただいた部分にはなるが、資料7の復興計画案の13ページの4段落目に、有識者である武内先生からの意見として追記させていただいた部分がある。

それから見せ方の問題があると前回から同じようなご指摘を受けているので、こういった分厚い復興計画の他に、概要版といったものを作成したいと思う。それについては、皆さんに見ていただきやすいような内容で作り込みをしたいと思っている。

#### 【橋本委員長】

概要版を作成するというのはとても良いと思う。市内の方だけではなく、市外の方にアピールする機会にも使えるかなと思う。

#### 【大野委員】

先ほどの糸矢委員のご発言に賛同する部分があり、見せ方として、何かメインにこんなことを取り組むんだみたいなものが見えると確かに良いなと思っている。

「海業」の話があったが、私も「森林サービス産業」を推進するみたいなことを、本当は入れ込みた

いなくてという意見を今日は持ってきた。今まで林業のことで意見を言わせてきてもらったが、正直やっぱりそこを紐解いていくと人がいないということに行き着く。色々制度とかお聞きすると、大体その課題に対してのアプローチはもう制度的にはなされていて、だけど人がいないというのがどうやら現状であるということが分かってきた。従来の農林水産業と一言でまとめられてはいるが、農業と、水産業ももちろん別だが、その二つと比べても林業ってどうも違う気がする。危険度もそうだし、従事者が特に確保しづらい業種であると思う。そんな課題感というのは、やはり業界全体でどうやらあったらしく、その打開策として、いわゆる「森林サービス産業」というのを提案されている方とお会いすることもある。私もそれしかないかと考えている。それで、これは個人的なことになるが、これまで取り組ませていただいていた植林事業の場所が県内で唯一、自然共生サイトに認定されている場所である。これはジオパークとか国定公園を広げていくという活動とかなりリンクする場所になっていくと思うが、そうしたところを活用した「森林サービス産業」をやっていく。例えば農泊事業と連携するとか。このサービス産業をやろうとすると、復興計画の基本方針3、4、5もしかしたら2にもどこかで入ってくるかもしれないという横断的な取り組みになる。そうなった時に、線で分けられた感じで受け止められたり、それぞれで別々な窓口に行かなきゃいけないみたいなことが無いように、「海業」もそうだが、観光と絡めたりとか、色々していかなきゃいけないことだと思うので、横断的にスムーズに運用されるような体制を整えていくようなことを考えていただけたらと思う。

**【橋本委員長】**

今のご意見に対して、どの様に今の計画の中に位置づけられているか、あるいは先ほどの有識者コメントへの対応で、地域複合産業というふうに記載されていると思うが、その部分にも該当するのか、その外側になるのかということも事務局から何かあるか。

**【濱野事務局長】**

この復興計画自体にはっきりとした文言というのはないと思うが、組織的な話でいうと組織内で横断的に取り組みを進めていくというのは重要なことかなと思っている。その窓口をどこにというのはちょっと私の口からは申し上げられないが、全ての課室局が連携してやっていけば進んでいくのかと思う。

**【泉谷市長】**

先ほど糸矢委員さん、そして大野委員さんからもあったが、農林水産業、里山里海の営みが復興へのベースであると言いながら、基本方針3施策3-3農林水産業の再建の部分で、具体的な取り組みが少ないというところもあるので、これから加えられるようであれば、「海業」に関するものであったり、今ほどの「森林サービス産業」のことであったり、多少項目を増やすのかどうかといったところも含めて、事務局の方で再度そこは考えていただきたいと思うがどうか。

**【濱野事務局長】**

そのように検討していきたいと思うし、先ほど申し上げた横断的な取り組みという文言も足りないのかなと思うので、概要版も含めて、そうした見せ方にしていければと思う。

**【糸矢委員】**

見せ方の話だが、いま「海業」と言ったので、「林業」も「山業」と言えば良いのでは。「里業」と言えば良い。例えば塩づくりなんかでも、半分「海業」で半分「山業」である。横断的であり、海だって

魚を獲るが、海と山の栄養があって魚が獲れるのである。せっかく里山里海と言っているのに、打ち出し方として、新しい発想で「山業」と言ったらこれは何だと誰もがハッとすると。「海業」もあまり知られた名前ではない。そういうこと意識して、こういう取り組みがありますよというふうに整理して打ち出してもらえれば、面白いのかなと思う。

#### 【泉谷市長】

そういうことであれば、基本方針3のなりわいの再建の方に入れ込むのか、あるいは基本方針4の世界農業遺産など珠洲ブランドの価値向上のところに入れ込むのか、そこも含めて最終的に煮詰めたいと思う。

#### 【多田委員】

基本的には復興計画はこれで良いのかなと思う。ただし、今後この基本方針に従って具体的に進めていく場合、やはり不都合な部分も多分出ると思うが、チェックして、次のアクションといった手法になってくる。だからこれは完璧なものではないけれども、今の時点で、これで進めていくということで私はこれで良いと思う。

宝立地区で一番気になっているのは、やはり住宅の問題で、今どこまで話しをしているかということ、津波に遭ったような鶴飼・春日野・見付では、災害公営住宅をどの辺りに建てれば良いか、あるいはどの辺りに誰が再建していくか。それを含めて、まちづくりをしていかないといけない。ぽつんと建っている家は置いといて、公営住宅を別な場所にといい訳にはいかないと思う。今アンケート調査をしていると思うが、アンケートの集約の結果として、具体的な数字が出てきて、例えば鶴飼方面で大体どのぐらいの人が、いわゆる津波の被害があった場所を望んでいるのかというような具体的なものというのはいつ頃出てくる予定か。

#### 【濱野事務局長】

資料9の方にも記載しているが、市内に居住されている方に対しては、昨日1月末を回答締め切りとして回収を始めている。多少期日に遅れたものも拾って行きたいと思う。それから市外に広域避難されている方や市外におられる方で珠洲市内に土地を所有されている方、そちらの方への意向調査も昨日から発送を開始し、2月21日までの回答締め切りということで実施している。

この後、各地区の区長会長さんと話をさせていただくが、3月以降に地区協議会を開催させていただきたいと思っており、その際にはアンケートの速報値といったものもお示しできるかなと思っている。2月21日が締め切りなので3月上旬ぐらいまではかかるかなと思うが、それ以降であれば数値はお示しできるかと考えている。また日程調整等もさせていただきたいと思うのでよろしくお願い申し上げる。

#### 【丸山委員】

復興計画の13ページ目の中ほどの文言で、「本市はゼロカーボンシティを表明している自治体である。」ということだが、このゼロカーボンということに関して、この復興施策の中に具体的ではなくても良いが、そうしたことを進めていくという記載があるのか確認したい。というのは、私どもの大谷地区の方に自然エネルギーということで、風力発電の話が来ていて、そういうことに対してどうなのかなというふうな問い合わせがあるのだが、現状、実際風力発電も結構設置されているのだが、今ちょっと事情があって止まっている。今後、風力発電を新たにまた建てるのか、そういったことに関して、どう考えておられるのかをお聞きしたいと思う。是非とも進めたいという事業者の方が来ておられて、色ん

なメリットがあり、私も是非やってもらいたいなというふうに思っている。ただし、一筋縄ではいかないところもあるので難しい面があるが、その辺どうであろうか。この復興計画の中にどういう形で、そういう考えが織り込まれてるのか、無いのかっていうのがちょっと分からないので教えていただければと思う。

#### 【西次長】

ご指摘の件については、確かにこの復興計画には明確に位置づけされていないが、元々珠洲市の最上位計画である、まちづくり総合指針の方でそういった自然エネルギーを使っていくというのは謳っている。風力発電を自治体で作る場合は、こういった計画に載せて進めるべきと思うが、民間事業者がされる場合は、法律に則って手続きをしながら進めていただくということになると思う。実際、珠洲市として、風力発電施設を作るという計画であれば載せるべきだと思うが、本来、復興計画に載っていないからやらないというものでもなく、そもそもの最上位計画で自然と共生する珠洲市というものを謳っており、元々推進している。新規で作るというお話も聞いているので、別にそれは否定するものでもない。

現在、この復興計画の策定と同時に、珠洲市のまちづくり総合指針の見直しも並行で進めており、そちらの方でも記載されると思っている。

#### 【泉谷市長】

復興計画の79ページの地域循環共生圏の関わるところに明記しているということにはならないか。

#### 【西次長】

79ページに明記しているものは、もう少し小規模なものということで、恐らく丸山区長会長さんがおっしゃられているのは、現在、既存の大きい風力発電が30基あるが、それに匹敵するようなお話なのかと思う。

#### 【丸山委員】

参考資料1や復興計画13ページに再生可能エネルギーの記載があるが、農林水産業の支障にならないように再生可能エネルギー開発を進めるということか。

#### 【西次長】

復興計画に記載されている再生可能エネルギー×農林水産業というのは、イメージとしては、大谷地区でやっている太陽光パネルの下で野菜を植えたりなどといったものをイメージしている。

#### 【橋本委員長】

いま事務局から回答があった営農型の太陽光の話は、復興計画60ページの、一番下のタイムラインが示されているところに記載されている。

#### 【泉谷委員】

今、飯田町の方で地区の復興計画を進めているが、この復興計画を進めている中で、最近、まちづくり推進協議会を立ち上げなければならないということで、この話が出てから、復興計画より推進協議会を立ち上げる話の方がどんどん進んでいて、そっちの方にどうも力が入っているような気がする。それで、飯田町の推進協議会に入っているメンバーの方々から、区長会で「飯田町に住んでいる人たちの住

所とか名前を調べてください」とか、「避難されてる方とかも含めて、名前と住所を調べてください」とか、「飯田町の方全員に、推進協議会に加盟していただきたい」という話が来たが、それに加えて、「不動産所有者の住所、お名前も調べてほしい」と。ちょっとそれは区長会では無理があるのではないかという話をするのだが、皆さんからお叱りを受けながら、これをどうして調べれば良いかなと思っていたら、今後のスケジュールの中に不動産所有者の調査があるというところが記載してあったので、調査した結果等を教えてもらえるものなのか。やはり個人情報で教えられないというようなものなのか。

#### 【西次長】

資料9で記載しているとおり、市外の広域避難者や市外にお住まいの不動産を持っておいでる方に対する調査は行政が行う。その結果については、まちのかたちを作る上で、ここは再建の意向がない等の情報はお示ししながら議論していこうという思いでいる。

行政で収集した情報については、まちのかたちを議論する上で必要な情報はお出しするが、そういった個人情報はお出しする予定はない。

#### 【泉谷市長】

行政と区長の皆さん始め、そういったまちづくりを考えると、うまく連携できれば良いなと思っているが、有志の会という形で、個人情報に関わるところをやりとりされると少しリスクがあるように感じたが、どちらにしてもうまく連携して進めていければと思っているので、その中で個人情報に係る部分をどう取り扱っていくかといったところは難しい点があると思う。

個人情報に関わる部分は、行政の方で意向調査を踏まえて情報開示できるところは皆様と連携しながら進めていくというスタンスであり、中々区長会で調べることも難しいと思うし、それをまたオープンにするのもいかなものかと思うので、そこはご相談いただきながら進められればと思う。

#### 【中川委員】

現在仮設住宅にいる人達が、この後どうしようかというふうにみんな迷っておられる。そうした迷っている人たちの中には、最悪の場合は、もう珠洲から出ていこうかというような考えの人もいる。迷っているのは何故かという、先が見えないから。そういう意味で、この復興計画のタイムラインを示すことで、珠洲市は、上戸町はこういうふうになっていくのかと、こういうふうに戻旧復興されていくんだなと、そういう何か見通しが見えるということは大事なので、本当に早くこれを出してもらいたい。例えば、このタイムラインの中でも短期というのと、中・長期とあるが、これも非常に微妙で、短期となっているところは、令和7年末までに全て解決、復旧・復興してくれるのかと、そういうふうを示していただければ、迷っている人もそういうふうになるのだったら、頑張ってここにおろうかとか、ここに住もうかというように迷いが解決されるので、出来たら短期とか言っても、例えばこの橋は、何年何月、7年末、7年度末までには、直す、通れるようにするとか、この道路は、何年の何月頃までにこういう計画でというように、復旧の計画みたいなものが、より具体的に明らかになれば、大変助かるのだがその点はどうか。

#### 【濱野事務局長】

現在10地区を24のエリアに分けて、「新たなまちのかたち」のご協議をいただいている。その中で色々なご要望とかご意見をいただいているが、現在、庁内の方で早期に実施するものにしても、何年度に実施するのかといったような整理を始めている。3月以降に地区別協議会の日程を調整させていただ



くという話をしたが、その場でお示しできる範囲でお示したいと思っている。全てをお示しできるかわからないが、このご要望に対しては、7年度末までにやりますとか、7年度予算で盛り込みますとか、そういったお話をさせていただこうと思っている。橋など時間がかかるものに関しては、何年度までにというのは申し上げにくいところがあるが、出来るだけ日程をお示しできるように庁内で資料作成しているので、ご理解をお願い申し上げます。

#### 【中川委員】

例えば、上戸町のこの橋については、この川の、この道路については、いつまでとか、そうしたもののというのは、今のお話で、中々計画的にいろんな条件が関わってくるので、見えない部分があるとのことだが、例えば、ある程度計画が出来てきて、公表できるものであれば、そうしたものはどんどん発信していただく、そこに住む者は安心して見通しを持って、この橋はいつまでにできるのだとか、そういうことで何かこうしようとかっていうことが出来るのだと思うので、ある程度明らかになったものは、出来るだけどんどん情報を出していただきたいなと思う。

#### 【濱野事務局長】

3月にはまず一旦お示しするが、3月以降も意見交換を続けていきたいと思っているので、新しい情報は出していくし、もっと細かいエリアで話が必要になると思っている。旧集落単位や区単位であったりみたいなのところもまた随時、引き続きスケジュールが分かり次第、お示ししながらやっていきたいと思っている。

#### 【丸山委員】

ここはこうやるよという判断が出た時点で、公表していってもらえればと思う。

#### 【濱野事務局長】

そのように公表していければと思う。まずは令和7年度の当初予算の編成作業というものをやっているんで、それが終わり次第、場所なども決まるかなと思うが、やはり3月中にはどうしてもなってしまうかなと思う。

#### 【泉谷市長】

今ほど中川区長会長さんからあったが、まずは農地、農業施設の復旧を春の作付に間に合うようにできるだけ迅速に進めていく。あとは橋であったり、あるいは川の護岸であったり、道路であったり、また上下水道の本復旧といったこともある。来年度の予算にはとにかく全て盛り込むような形の予算立てになっている。その内、入札を執行して発注ができれば、目途は立ってくるが、予算を組んで入札にかけても、全てがスムーズに仕事が進んでいくかどうかは、今この現段階においては明言できないということがあるので、発注等の目途が立ち次第、各地域の皆様方にお示しするというような形になるかと思うが、いずれにしてもやはり一番急ぐべきは住まいだと思う。特に災害公営住宅をどこにどれだけ整備をしていくか、いつから整備して、いつ頃完成するのかというところが重要になってくると思う。珠洲市に戻るかどうか、あるいはこのまま応急仮設にいらっしゃる方が災害公営住宅という形で住みたい、あるいは自力再建をしたい、その時には自分の敷地の周りの道路がどうなるのか、色々と知りたいことがたくさんあると思う。そういったところをできるだけ早くお示しできるようにといったところが各地区の「まちのかたち」の議論と連動してくるので、そこをしっかりと議論を継続して進めなが

ら、出来るだけ早く計画を進めていきたいという思いでいる。見通しが立ち次第、連携して推し進めていく、情報共有していくということが大事だと思うので、よろしくお願い申し上げます。

#### 【多田委員】

個別の案件であるが、鶴飼大橋とその横に仮設の橋もあるが、例えば、区長がどうなってるのって聞きに来た時に、例えば環境建設課の方に聞けば答えてくれるものか。予算がついていないので、議会が終わってないので、まだ決定しませんよというのではなく、大体でも区長にはそのぐらい教えてもらえないものか。

#### 【濱野事務局長】

決定した段階であればお答えはできると思う。環境建設課でも決定してないことをお答えはできないと思うので、まずは決定してからということになる。

#### 【橋本委員長】

明確なタイムラインを示すことの重要性、これから復興を進めていく中で、どのように地元の方や市外に避難されてる方と、コミュニケーションとか情報をやりとりしていくか、とても重要なご意見をいただいたと思う。

#### 【馬場委員】

前回ぐらいから気にはなっていて言えばよかったのだが、状況が改善しないので。基本方針4大施策4-1移住定住の促進の74ページの住みやすい居住環境の整備の部分だが、ここの書きぶり見ると、仮設住宅とか災害公営住宅の整備とか、被災者の住宅再建を支援するというふうに書いてあって、恐らく既に移住している被災者の方のっていうことなのかなと読み取れるが、それももちろんすごく大事だが、最大の課題は人口減少というのもあるし、実際、私も今まで近くの組合の事務局をやっている、もう本当に人手が足りない。募集をすれば意外と応募は来るけど住む場所がなくて、採用ができないっていう状況がずっと続いているので、新しく入ってくる移住者のための住まいのことが全く触れられてないというのが心配であった。事業内容のところにも、セミナーの実施とか対話の推進とかっていうふうに書いてあるが、これをやった先にどういうことが起こり得るのかっていうのがちょっと見えにくくて、なんかちょっとぼやっとしているなと思って、見ていて心配になった。

#### 【泉谷市長】

以前から復興に向けて珠洲市で頑張りたいという方、新たに来ようという方に対する住まいはないのかということがあった。これまでは空き家を活用して住んでいただいていたと思う。空き家の改修、あるいは購入等についてもいろんな補助スキームを、制度を作って進めてきた。ただし、本当に移り住んで来られた方々のそうした住まいがこの大地震、また豪雨で大きく被災されてしまった。一旦実家に戻られたりされている。そんな方々に向けての住まいの提供をどうやっていくか。法律的には四角四面であり、応急仮設住宅については珠洲市にいらっしゃって被災された方じゃないと利用できないとか、移住される方向けの住宅の提供には本来は使えないということになっているが、これを何とか目的外使用という形で使えないかということは、ずっと国の方とやりとりはしている。何らかの形で使用できるように持っていきたいと思っている。また、それとは別に行政として、そうした住まいを提供できるようにサブリースの物件についての予算を来年度当初予算に盛り込みたいと思っている。それとまだちょっ

と手を加えれば何とか使えるという空き家について、移り住んで来られる方の住まいに提供できるように修繕の補助を実施するといった取り組みについても来年度幅を広げるような、そんな形で取り組んでいきたいと思っている。あとは中長期の派遣の職員の方等々含めて、あちこちにトレーラーハウスがあるが、それについてもリースの期間がある程度過ぎたら、少しお安く珠洲市が買い取って、そういったところを提供できないかなど、色んなことを探していきたいと思っている。74 ページの住みやすい居住環境の整備のところに入れ込むのか良いかどうか分からないが、住まいの選択肢の提供といったところにセミナーの実施、ではこの先どうなるのっていうことになるのだが、もし具体的な取り組みを書き込むことができるようであれば事務局で修正について検討して、早急に結論を出してほしいと思う。

**【濱野事務局長】**

今のご意見に関しては復興計画に入れ込んでいきたいと思う。それから 42 ページの方になるが、石川県と連携した事業ということで、被災古民家を活用した宿泊施設の整備というのもあるので、この辺りも活用しながらやっていければなというふうに考えている。

**【橋本委員長】**

計画の実施も含めて、多くの重要なご指摘をいただいたと思う。これからご相談というか、お考えいただきたいが、復興計画について、スケジュールでは3月公表となっているが、本日のご指摘事項の修正と、何らかの微修正などが生じた場合は、委員長がその都度確認するということと、そこを委員長に一任するということも含めてご承認いただきたいと思うがいかがか。

(異議の発言なし)

**【橋本委員長】**

本日も発言の中であつたと思うが、復興計画は一度決めたらギチギチに決まってしまうというものでもない。これから計画を進めていかれる中で、見直しが加えられたりする部分もあるし、総合指針の中で位置づけられていくようなものもあると思うので、そういった部分も含めてご理解いただいたというふうに受けとめた。

それでは本日のご指摘事項、ご助言事項などを修正して珠洲市の復興計画とする。

以上で、次第に基づく議事は全て終了した。本当に皆さんご協力ありがとうございます。素晴らしい珠洲市の復興計画を取りまとめることができた。改めて本当に感謝申し上げる。また、事務局はじめ、地元の皆様も、色んな形でご意見があると思うが、地区での意見交換会を3回実施して、それを都度計画に反映していく、そしてまた地区の細かなまちづくり計画の議論も並行して進めるというのは非常にきめ細やかに進められているというふうに、外から見ても感じる場所がある。本当に事務局の皆様、地元の皆様のご尽力に感謝申し上げます。進行を事務局に戻す。

**【濱野事務局長】**

橋本委員長、会議の進行ありがとうございました。長時間にわたり貴重なご意見いただき誠にありがとうございました。最後に市長から一言いただければと思う。

**【泉谷市長】**

橋本委員長には、これまで取りまとめいただきありがとうございました。本日、第4回目のこの策定

委員会においても、「海業」の話もあったし、そしてまた「森林サービス産業」、「山業」いったお話もあった。そういった辺りについて、最後までこの復興計画にどう入れ込むことができるかといったこともしっかりと取り組んでまいりたいと思うし、またこれから珠洲市で頑張ろうという方の住まいの提供といったものは本当に重要であるので、そうした辺りも、もう少し書き加えるところがあれば書き加えたいと思う。

加えて、中川区長会長さんからご意見のあった各地区における復旧・復興に向けたスケジュールを示す、あるいは見通しを示す、これからどうしようか悩んでいる方々に対して、特に住まいを中心に見通しを示すということは本当に大事だと思うので、これからまた各地区の「新たなまちのかたち」については議論を継続して重ねていただきたいと思うし、行政もお互いにキャッチボールをしながら、進めていきたいと思う。その中でいかにしてこの復興を具体的に進めていくかが本当に重要であるので、今後しっかりと進めて参る。

必ずや、珠洲市の復旧・復興、そして各地区の再生を成し遂げてまいりたいと思うので、どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

#### 【濱野事務局長】

ありがとうございました。本日いただいたご意見に基づき復興計画を修正し、委員長に最終確認いただくということでご承認いただき、誠にありがとうございます。

この策定委員会の委員の皆様は、復興計画を策定するまでとなっており、策定委員会も本日で一旦終了ということにさせていただきたいと思う。

今後、皆様方からもさらなるご指導ご助言をいただきたいと思うし、区長会長の皆様におかれては、3月以降、これからも地区別のプラン策定に向けて、お力添えをいただければというふうに考えているので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして、第4回策定委員会を閉会いたします。

以上